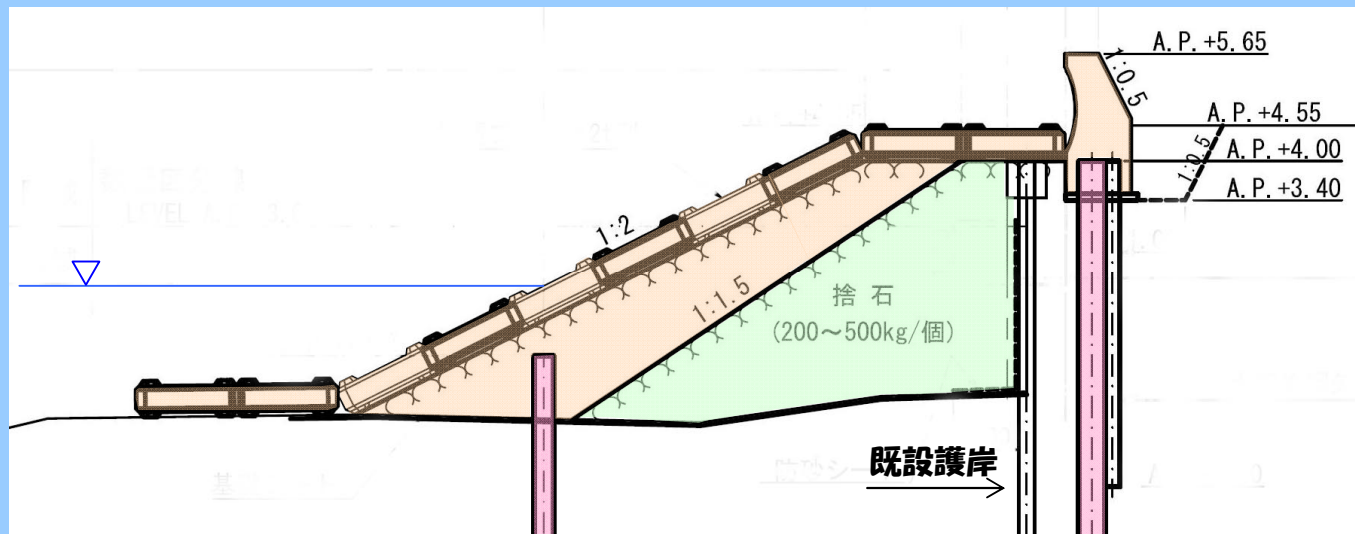


1丁目工事着手から1年2ヵ月後の検証・評価

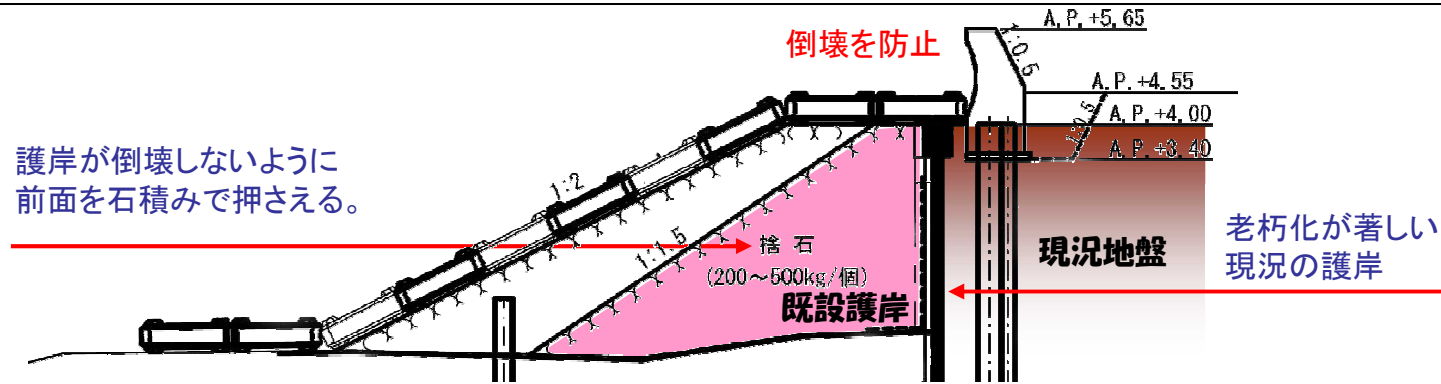
< 防護 >



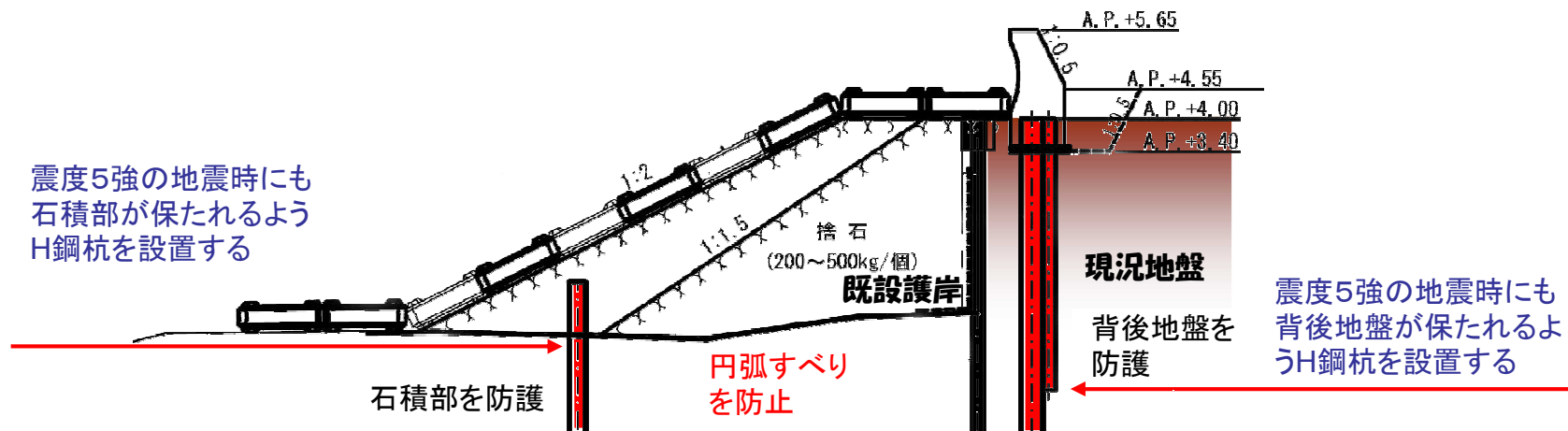
平成25年3月

1. “防護”に対する3つの指標

- ① “緊急対応”への指標 : 既設護岸の補強に必要な石積が確保されたか。
◇既設護岸の倒壊を防止。

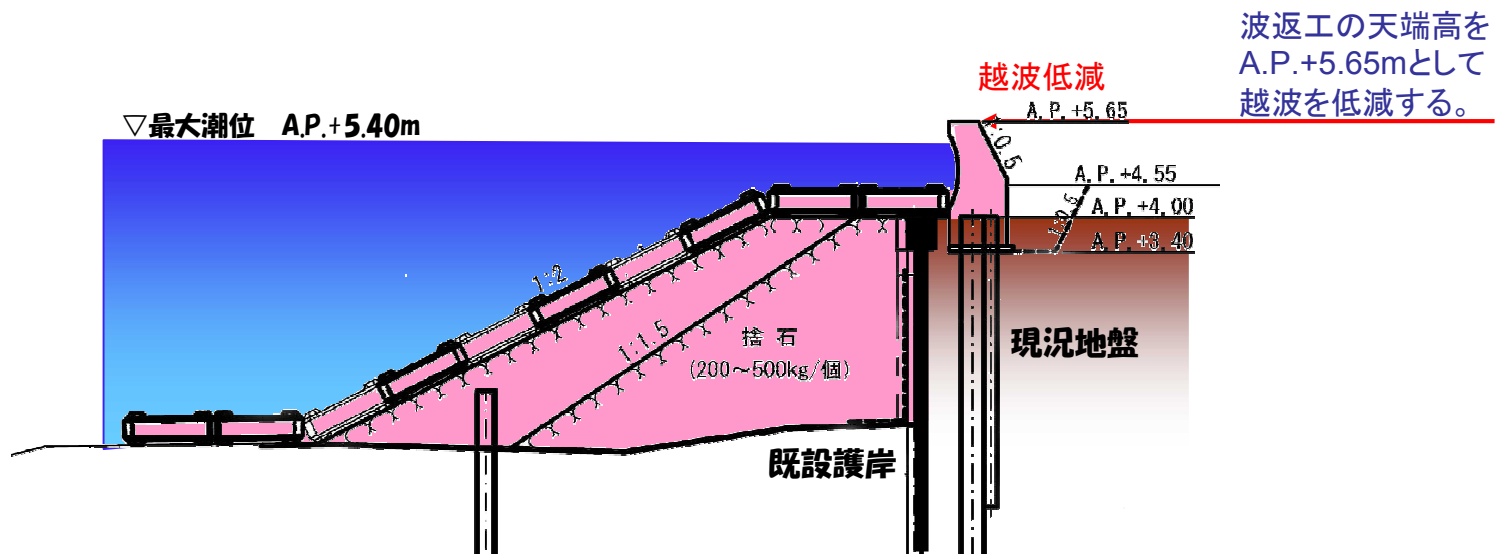


- ② “耐震”への指標 : H鋼杭(海側、陸側)が打設されたか。
◇海側は石積部の震度5強への防護を確保
◇陸側は背後地地盤の震度5強への防護を確保



③ ”越波低減”への指標 : 傾斜堤の高さがA.P.+5.65mに達しているか。

◇A.P.+5.65m(波返工)により越波低減を図る



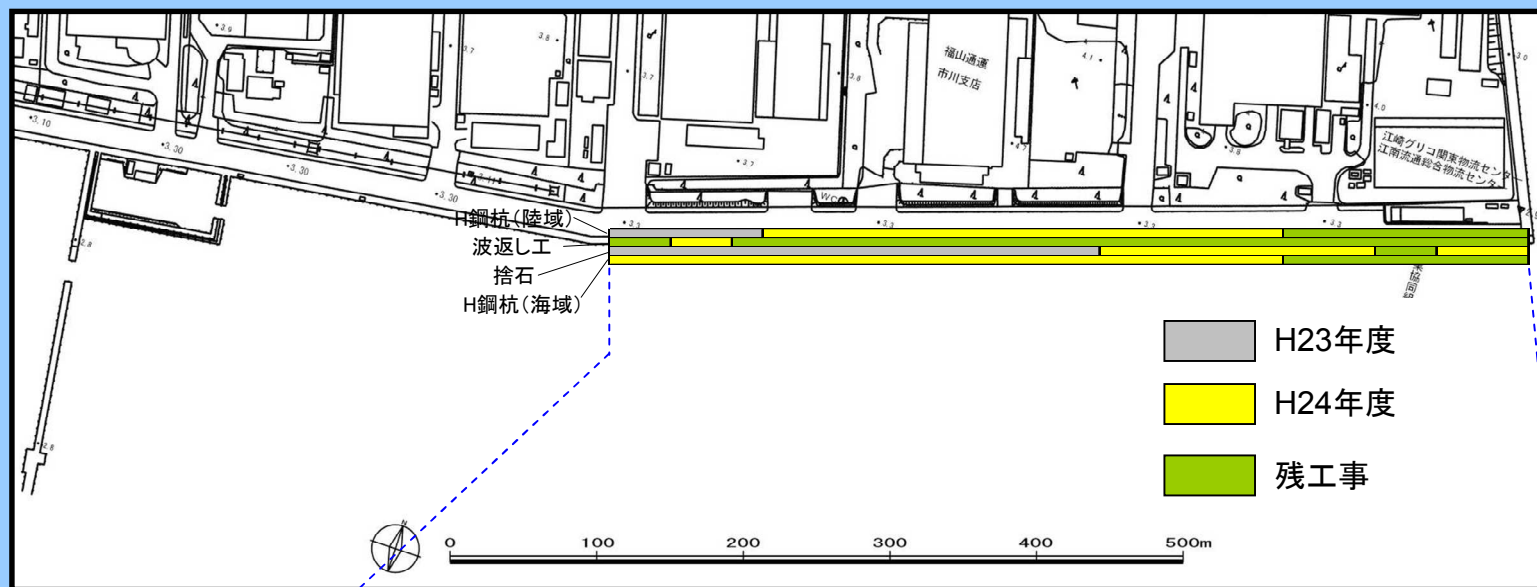
2. 検証基準

目標達成基準

早急な安全性の確保

検証項目	目標達成時期	検証場所	基準とする値
防護の確保状況	平成25年度頃	塩浜1丁目	地域の防護に対する3つ指標がそれぞれ施工延長600mにわたって、 ①緊急対応への指標 100% ②耐震の指標 100% ③越波低減への指標 100% を確保すること。

3. H24年度工事の検証結果(施工中を含む)



海域工事	捨石 (倒壊防止)	314m				193m				48m	45m		
	H鋼杭 (耐震)	440m								160m			
陸域工事	H鋼杭+鋼矢板 (耐震)	100m		340m						160m			
	波返し工 (越波低減)	40m	36m	524m									
		40m	36m	24m	214m				126m		67m	48m	45m

	実績	状況	実績	状況	実績	状況	実績	状況	実績	状況	実績	状況	実績	状況	実績	状況
①緊急対応	有り	100.0%	有り	100.0%	有り	100.0%	有り	100.0%	有り	100.0%	有り	100.0%	無し	0.0%	有り	100.0%
②耐震(H鋼杭:海・陸)	有り	100.0%	有り	100.0%	有り	100.0%	有り	100.0%	有り	100.0%	無し	0.0%	無し	0.0%	無し	0.0%
③越波低減(+5.65m)	無し	0.0%	有り	100.0%	無し	0.0%	無し	0.0%	無し	0.0%	無し	0.0%	無し	0.0%	無し	0.0%

※上表の各評価については、(区間ごとの進捗率) × (区間延長 / 全体延長) の合計で算出します。

4. H24年度工事の検証結果(指標ごと)

① “緊急対応”への指標 : 既設護岸の補強に必要な石積が確保されたか。

◇既設護岸の倒壊を防止 ⇒ 92 / 100

② “耐震”への指標 : H鋼杭(海側、陸側)が打設されたか。

◇海側は石積部の震度5強への防護を確保

◇陸側は背後地盤の震度5強への防護を確保

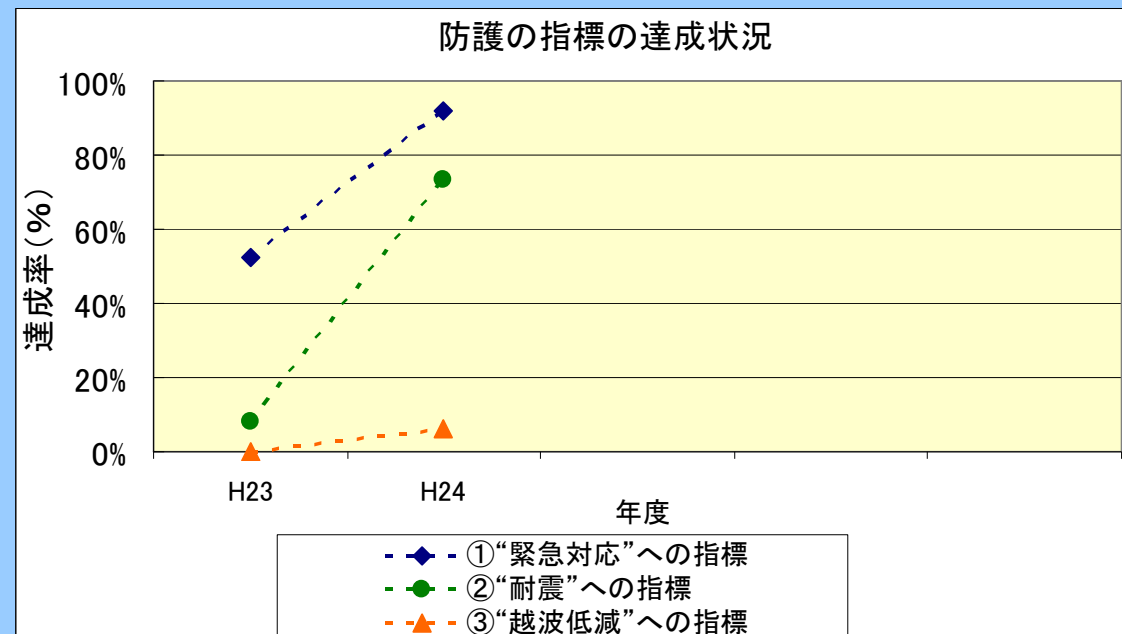
⇒ 73 / 100

③ “越波低減”への指標 : 傾斜堤の高さがA.P.+5.65mに達しているか。

◇A.P.+5.65m(波返工)により越波低減を図る

⇒ 6 / 100

施工年次毎の
達成状況



5. H24年度工事の評価

目標達成 基準	早急な安全性の確保
------------	-----------



検証結果	① ” 緊急対応 ” への指標 ⇒ 92/100 (52/100)
	② ” 耐 震 ” への指標 ⇒ 73/100 (8/100)
	③ ” 越波低減 ” への指標 ⇒ 6/100 (0/100)



注) カッコ内はH23年度

防護の 評価	<p>・ <u>”緊急対応”がH24年度末までに40%向上予定、”耐震”が同様に65%向上予定、”越流低減”が同様に6%向上予定である。</u></p>
-----------	--